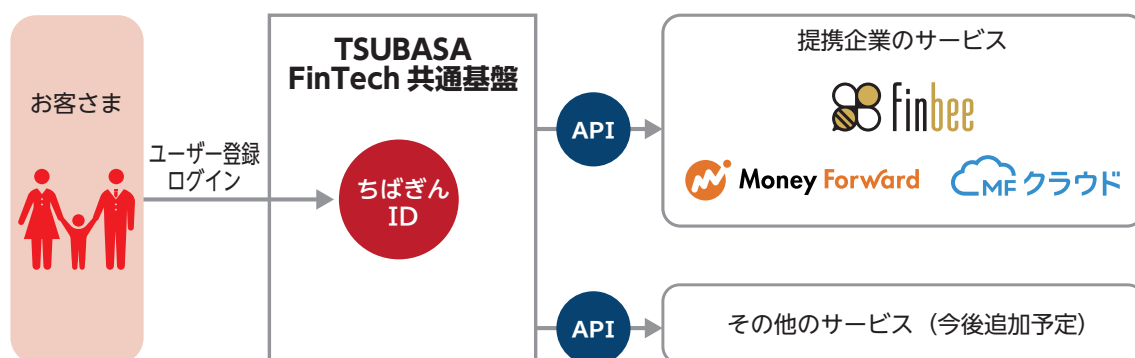


## フィンテックの取組み

当行は、IT技術を活用し、お客さまに先進的で利便性の高いサービスを提供するとともに、業務効率化にも積極的に取り組んでいます。

### フィンテックサービスの提供開始(2018年4月)

オープンAPI<sup>\*</sup>のプラットフォーム「TSUBASA FinTech 共通基盤」により、株式会社ネストエッグの自動貯金アプリ「finbee」および株式会社マネーフォワードの自動家計簿・資産管理サービス「マネーフォワード」・ビジネス向けクラウドサービス「MFクラウドシリーズ」の提供を開始しました。なお、API接続にあたっては「ちばぎんID」により安全かつスムーズにお客さまの認証を行います。



<sup>\*</sup> Application Programming Interface : 外部から銀行システムに接続し、安全に情報を取得できるようにする仕組み。

### RPA (Robotic Process Automation) の本格導入(2018年4月)

業務効率化に向けた取組みとして、このほど公的機関からの取引照会業務においてRPA<sup>\*</sup>を導入しました。本業務では、RPAの導入と一部業務プロセスの見直しにより、年間3,680時間分の作業量削減と業務の精度向上を見込んでいます。今後、他の本部業務にも順次導入を進めていく方針です。

<sup>\*</sup> ロボット技術を活用したソフトウェアにより、定型業務を代替する業務自動化の仕組み。

### ビジネスブログ「ちばぎんブログ」の開設(2018年4月)

非対面チャネルでのお客さまとの接点拡大を目的としてホームページ上に「ちばぎんブログ」を開設しました。お客さまにとって関心が高いテーマを選び、銀行ならではの視点で記事を追加していきます。



### スマートフォンのSIMカードによる本人認証技術に関する実証実験への参加(2018年8月予定)

日本通信株式会社が主導する今回の実証実験では、本人認証に必要な電子証明書と電子署名機能をSIMカードに搭載し、銀行取引におけるスマートフォンの有用性を検証しながら認証技術の業界標準構築を目指すものです。

なお、この実証実験は金融庁が設置した「FinTech実証実験ハブ」による支援が決定しています。

#### 実証実験の概要

実施主体	日本通信株式会社
参加金融機関・企業	千葉銀行、株式会社群馬銀行、株式会社徳島銀行 株式会社マネーフォワード、サイバートラスト株式会社
実施目的	電子証明書及び電子署名機能を搭載したSIMカードで本人認証を行い、スマートフォンで安心・安全に銀行取引ができるかを検証するとともに、認証技術の業界標準を構築する。
実施期間	2018年8月～10月